

みしま

会津西方

あいづにししかた

会津宮下

Aizu-Miyashita

Aizu-Nishikata

会津信原

Aizu-Hinohara

2012

8

August

広報みしま No.233

お盆に帰省された皆さんへ、
ふるさとのお今をお伝えします。
お帰りなさい。

会津西方駅に到着する下り列車。車窓からの眺めに、懐かしい「ふるさと」の記憶がよみがえる方も多いのではないのでしょうか。



日々変わっていく都会の風景と、変わらない三島の風景が、日本の都市と地方を象徴している。写真は東京・渋谷の風景（写真提供/北館賢也さん、7月26日撮影）



只見川の川霧

雨上がりの夕暮れ、川面に現れた川霧は刻一刻と厚みを増し、遠くに望むJR只見線第二只見川橋梁も包み込んでいった。川霧は湿度の高い梅雨から真夏にかけて、寒暖の差が大きい朝夕に発生することが多い（7月12日午後6時、歳時記橋から撮影）

お盆に帰省された皆さん、お帰りなさい。
 久しぶりのふるさとはどうですか。
 普段は忙しい日々を過ごされていることと思います。
 生活のこと、仕事のこと、心境は人それぞれ。
 でも、ふるさとに帰ったときは、ゆっくりしてください。
 三島でも、いろいろなことがありました。
 大変な災害もありました。
 でも、こうやって今年も、
 皆さんの帰りを迎えることができました。
 帰省された皆さんに、
 最近のふるさとの様子をお伝えします。
 三島はいつまでも、
 皆さんの本当のふるさとです。

いつ開演するか分からない、気まぐれな自然の不定期上映

只見川といえば鉄道の風景が有名ですが、川霧が素晴らしいという声も多く聞かれます。山河に霧が漂う風景は、まるで巨大なスクリーンに映し出された水墨画のようです。

川霧は川面の水蒸気が冷やされて霧となる現象です。雨上がりなどに見られ、湿度が高くて気温が下がったときに発生すると考えられますが、なかなか予想通りの光景を見せてはくれません。時にはすぐに晴れてしまったり、時には厚く濃い霧が周りの山々までも覆い隠してしまいます。程よく雲海となる絶景がいつ巡ってくるか分かりません。

昨年の豪雨災害から一年。あの只見川の恐ろしい氾濫を忘れることはできません。橋梁を押し流し、浸水や崩落などの甚大な被害をもたらした津波のような濁流は、川の風景も一変させました。発電ダムの貯水により豊富な水量を蓄えていた只見川は、今はまだ水位の低い状態が続いています。

地域を象徴する只見川の風景。大水害のつめ跡が残っていますが、その幻想的な美しさは変わらず見る人に感動を与えてくれます。



昨年、福島は東日本大震災という未曾有の災害を経験し、さらに原発事故の容赦ない恐怖に苦しめられてきました。双葉郡などの多くの人が、今も故郷の土を踏むことさえできません。福島の再生へ向けて、果てしなく遠い困難な道が続いています。

当町では地震による大きな被害はありませんでしたが、さまざまな風評の影響を受けました。そして追い打ちをかけるように前代未聞の豪雨災害が起きました。当町でも浸水被害が発生し、上流の金山町、只見町ではいくつもの橋梁が流失するという信じられない事態となりました。集落や農地への浸水や土砂の堆積も深刻で、発電ダムも再開のめどが立たず、多くの被害個所でも復旧が図られていません。

度重なる大災害を経験し、わたしたちは、帰るふるさとがあるということ、普通の暮らしができるということが、どんなに幸せなことか知りました。出身者の皆さんにとっても、いつでも安心して帰ってくる事ができる、誇りに思うことができるふるさとを、いつまでも守っていきます。

原発事故の影響 福島再生への道

原発事故から1年5カ月。当町では空気も食べ物も高い放射線量は出ていません。しかし会津を含め県内では、さまざまな面で風評被害に苦しんでおり、放射能の影響が依然として深刻です。当町でも特に農産物については放射能検査を独自に行い、見えない不安に対処しています。

今年6月の工人まつりには一昨年並みの約2万3千人が来場しました。福島を応援してくださる方々とともに、「ふくしまからはじめよう」のスローガンのもと、県一丸となって再生への道を歩んでいます。



役場庁舎そばに設置されている環境放射線モニタリングポスト。当町ではおおむね0.13μシーベルト毎時で安心できる範囲となっている

人口減少・少子高齢化 空き家の増加

住民基本台帳による人口と世帯数は7月1日現在1,920人、832世帯で急速な減少が続いており、高齢化率は50%に迫っています。それに伴い、町内の100軒以上が空き家となっており、今後も増えていくと思われます。空き家の増加は集落の衰退につながってしまいます。町では空き家を解消・活用するために、所有者関係などの情報提供を呼び掛けています。帰省者の皆さんも、空き家に関する何らかの情報がありましたら、役場へご連絡をお願いします。

【連絡先】役場 地域政策課 ☎0241(48)5533



今年度の三島小の全校児童は61人。年々減少しているが、小規模校だからこそ高められる教育を目指し、独自の食育にも取り組んでいる

健全財政を維持 情報通信事業を推進

財政の状況は、自主財源が少なく決して安心できる状況とはいえませんが、行財政改革に取り組み、健全な基準を維持しています。一般事務の正職員は36人まで減らしました。その中で近年は、民間事業者による整備見込みのなかった光ファイバーケーブル網を、町の事業として町内全域に整備しました。これにより情報化社会に対応するとともに、情報通信端末（防災告知・町内無料テレビ電話）を全戸に設置。さらにデジタル化に対応したケーブルテレビ放送を実現し、現在488世帯（約65%）が加入しています。



情報通信端末を全戸に設置。町からの情報を音声と文字で受信できる。さらに町内テレビ電話機能を備え、無料で通話できる



只見川沿線では護岸工事が本格化している。昨年の豪雨災害では、金山町横田の国道252号二本木橋など道路橋梁4カ所、鉄道橋梁3カ所が流失した。当町でも、写真奥の三島大橋の橋げたに迫るほど水位が上がり、右側を走る国道400号は冠水。宮下温泉栄光館や桐の里倶楽部は大きな浸水被害を受けた（現在は復旧、再開している）

豪雨災害からの 復旧

平成23年7月28日から29日にかけて、猛烈な集中豪雨が会津を襲いました。その勢いは想像をはるかに超え、只見川は東日本大震災の大津波を思い起こすような激流となり、いくつもの橋梁を押し流し、見慣れた風景を一変させました。あれから一年余り。各所で復旧工事が本格化し、多くの工事関係車両が国道252号を行き交う毎日です。その中でも、只見川の四季折々の風景は、今も多くの人を魅了しています。この誇るべき美しい景観を後世へ残していかなければなりません。

三島が誇る 「日本の美」

当町を含む奥会津地域は、全国的に見ても人口減少・少子高齢化の著しい過疎地域といえます。しかしここには美しい景観があり、先人から受け継いだ文化があります。

昭和49年に「ふるさと運動」を提唱して以来、町づくりの答えを自分たちの足元に求めてきました。ものづくりや伝統行事。「こんなこと続けたって、何にもならない」と、もしやめていたら、ここに紹介する三島の誇りは存在しなかったでしょう。もし外部資本に頼った開発の道を選択していたら、美しい山河の風景は壊されていたかもしれません。

人口減少を止めることはできませんでした。しかし世界に誇れる「日本の美」を残してきました。これからも守り伝え、さらに磨いていきたいと思います。

町民の皆さんにとって、出身者の皆さんにとって、この小さな田舎町に対する想いはさまざまだと思います。多くの人にとって、かけがえのないふるさとでありたい、心安らぐ本当のふるさとでありたいと願っています。

三島で生まれ育ち、自分の選んだ地で生活する二人から、ふるさとへの想いを聞きました。

ふるさとへの 想い



北館賢也さん

32歳 西方出身
東京都中野区在住
ABB株式会社勤務

東京での生活も14年目を迎えました。私が学んだもののうち、本当に役立つものは専門知識や技術などではなく、もっと普遍的なものです。人の違いを認め尊重する気持ちや、分かりやすい言葉を使って話す気配り、自分の間違いを認める潔さ、学ぶ姿勢を忘れない謙虚さなど、人としての基本が何よりも重要であることを実感してきました。これらは実践してこそ意味があります。実際、学校での勉強や資格を取得することなどよりずっと難しいことです。

難しい言葉を多用するテレビや新聞報道、国会のよく分からない議論、それらを見てみると、気配りや謙虚さが足りないのではないかと感じます。また見る側もすぐ知ったつもりになるのではなく、自分の頭で考え、理解を深めることが大切です。間違っていたら潔く認めることが必要だし、また私たちはその間違いを責めるようなことをしてはいけないと思います。

高校までの18年間を会津で過ごしている間、正直、私は都会の人に対して劣等感を抱いていました。早く彼らに追い付きたいと思って東京に出ました。しかし今こうして、人としてどうあるべきかを冷静に問うことができるのは、「ふるさと」があるからです。人の温かさに接する十分な時間があったからです。私はそのことを都会で訴えていきたいと思っています。

4歳の長女は栃木で生まれ、仙台で住民登録した後、転勤と原発事故の影響で、広島、福島、栃木とすでに3度の引越しを経験しています。転勤族の親に付き合わされ、十分に土地になじめず、友達と心から仲良くなる前に次の土地へ移る、その繰り返しです。

そんな娘を見ていると、西方で過ごした自分の幼少時代が思い出されます。自然に囲まれ、学年を超えた仲間と行動し、地域の人に見守られていたあの日々です。そういった、じっくりと地域の中で成長する機会を子どもから奪っているのではないかと、ひどく反省する今日この頃です。

今、学校教育では小学校から大学に至るまで、「生きる力」「コミュニケーション能力」などさまざまな能力の育成が求められています。そのほとんどが学校教育以前の問題であると思います。もちろん教育機関の責任を放棄するつもりはありませんが、家庭を含め地域で作り上げた土台の上に、諸能力の形成をサポートすることが中心です。

変化の激しい時代こそ、地域での体験・経験が大事なのではないかと思っています。三島町で生まれ育った人間として、大研究を進め、その成果を三島町に還元できる日が来ることを夢見しています。



国の重要無形民俗文化財
三島のサイノカミ

当町の代表的な小正月行事「サイノカミ」は、平成20年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。同様の祭りは東北の日本海側を中心に各地で传承されていますが、当町の「サイノカミ」はその典型例として重要であると認められています。家内安全、五穀豊穰、厄除けなどを祈願する行事。1月15日の夜、多くの地区で現在も行われています。このほかにも町内では、「鳥追い」や「虫送り」など貴重な民俗行事が継承されています。



国の伝統的工芸品
奥会津編み組細工

「奥会津編み組細工」は、平成15年に国の伝統的工芸品に指定されました。野山から採る材料を用い、生活のために家々で作られる「かご」や「ざる」など、いわゆる民具が指定されたのは全国で初めてのことでした。6月に開催する工人まつりには「奥会津編み組細工」を求めて多くの人が訪れ、近年は2万人を超える来場があります。作り手は高齢者が中心で、製作活動が楽しみ・生きがいとなり、80代、90代でも元気に取り組む方々がたくさんいます。



全国ランキング1位
只見川と鉄道の景観

平成20年に日経プラスワンの「紅葉が美しい鉄道路線ランキング」でJR只見線が全国1位に選ばれるなど、只見川沿いの風景の美しさは多くの人を魅了しています。特に当町にある第一只見川橋梁は、絶景のビューポイントとして知られています。昨年の豪雨災害で金山町内の橋梁が流失しており、一日も早い復旧が望まれます。豊かな自然と歴史ある鉄道が織り成す美しい景観を未来へ残すために、沿線町村が連携して取り組んでいます。



1 「仕事をする」ということ、肌で感じた二日間

三島中の全校生徒が、町内、坂下、若松などで職場体験



板橋健太くん(左、中3・中平)は当町役場で二日間、町民課の仕事を体験した。役場の仕事全般について説明を聞いた後、町民課で担当している戸籍関係業務などを体験。また西会津町民プールで行っている「足腰げんき教室」に随行し、実際に参加者と一緒にプールに入って水中運動を実践した

三島中生徒の職場体験は6月28日・29日に行われ、全校生徒が町内外の各種事業所の仕事を体験しました。1年生は町内の事業所、2年生は会津坂下町や会津若松市など町外の事業所、3年生は町内外の福祉分野の事業所から、一人一人別々の訪問先を選び、受け入れ依頼の電話も自分で行いました。生徒たちの希望に応じて、飲食店、小売店、病院、結婚式場、自動車販売店、介護施設、町役場などが受け入れに協力しました。

訪問先▶桐寿苑、つるの湯、三島保育所、宮下病院、会津桐タンス、ふるさと荘、道の駅尾瀬街道みしま宿、会津地鶏みしまや、山モ齋藤商店、どんぐり、香都美容室、イソメ写真館、ゼビオスポーツ会津若松町北町店、パン工房フルール、いいでら動物病院、ダイユーエイト坂下店、ペットサロンぴこりん、トヨタカローラ福島会津店、コメリ坂下店、会津中央保育所、ベル・ルクス、キッチンノエル、ライフケア鶴賀、会津坂下デイサービスセンター、グループホーム結和、竹田総合病院、ハーモニーハウス、会津坂下町役場、金山町役場、三島町役場



カーブミラーを清掃する皆さん

2 心も映すピカピカミラー

町内すべてのカーブミラーを清掃

交通安全協会三島分会と町交通対策協議会は7月21日、カーブミラーの清掃を行いました。交通事故防止のために毎年行われています。役員の皆さんなどが、町内数十カ所のカーブミラーをすべて水洗いして回り、一年間の汚れを落としました。対向車などが映ることで事故を防ぐカーブミラー。それだけでなく、事故の原因となる焦りや苛立ちも、ピカピカのミラーに見られているかもしれません。余裕を持って安全運転に心がけましょう。

3 6,900本の花が町を彩る

各地区で花植え作業

町内の国道沿いの花植え作業は、6月22日から24日にかけて行われました。町交通安全母の会を中心とする各地区のボランティアの皆さんが、県から配布されたマリーゴールドやサルビア、ペコニアなど合計6,900本の苗を植えました。間方地区では「美女峠花街道」と書いた看板も設置し、美しい道路景観づくりに寄与しました。この花植えは県のフラワーロード事業による委託を受けて毎年実施されているものです。



間方地区の花植え作業。「美女峠花街道」の看板も設置した

4 家庭バレー2連覇、ソフト準優勝

県民スポーツ両沼大会 町民活躍



家庭バレーボールで二連覇を飾った三島パープルレディーズ

4 家庭バレー2連覇、ソフト準優勝

県民スポーツ両沼大会 町民活躍

第65回県民スポーツ両沼大会は7月8日、昭和村で開催され、当町からは家庭バレーボール、卓球、壮年ソフトボールにそれぞれ出場しました。家庭バレーボールに出場した三島パープルレディーズは二年連続の優勝。壮年ソフトボールの当町チームは準優勝と健闘しました。両チームは8月5日に会津美里町で開催される第65回県民スポーツ会津大会に出場します。来年度の両沼大会は、当町をメイン会場に開催される予定です。

5 おばあちゃんは大先生

郷土料理教室「おばあちゃんの味」

郷土料理を子どもたちに伝える教室「おばあちゃんの味」は7月4日、町民センターで行われました。三島小6年生12人が老人クラブ女性部の皆さん19人に習いながら、「タケノコご飯」「三角巻」「三五八漬け」などのメニューに挑戦。出来上がった料理はお昼に全員で味わいました。今年で28年目を迎えたこの教室。地域の伝統的な料理にふれながら、その知恵や栄養バランスを学ぶ食育となっています。



三島小6年生が郷土料理を習った「おばあちゃんの味」



町民センター前でパレード出発式を行った推進委員の皆さん

6 犯罪や非行の防止を呼び掛け

「社会を明るくする運動」啓発パレード

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、同運動町推進委員会は7月12日、町内の啓発パレードを行いました。推進委員9人が参加し、町民センター前で出発式を行った後、啓発放送を行いながら町内を巡回。「一人一人が悪いことをしないように、地域の子も・若者たちが非行に走ることをないように、明るく健康な生活を手助けできるよう、皆様のご理解ご協力をお願いします」と呼び掛けました。

7 被災地を勇気づけるハーモニー

ベルギー王立少年合唱団公演

ベルギー王立カンターテ・ドミノ少年合唱団の公演は7月8日、交流センター山びこで開催されました。同合唱団は5回目の来日で、今回は原発事故が起きた福島でのチャリティー公演のために訪れました。町内外から約300人が来場し、ホールは立ち見になるほどの超満員。10代の少年合唱団は、世界の民謡や宗教音楽などの美しいハーモニーを響かせました。また三島中と川口高校の生徒も共演し、「ふるさと」などを歌いました。



ベルギー王立カンターテ・ドミノ少年合唱団の公演

ズームイン6 町民記者の地元密着通信



1 大石田のオーナー制 そば打ちなどで交流

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)



そば打ちで交流したオーナー参加者と大石田地区の皆さん

大石田地区で5月に始まった交流事業「そば・じゃがいもオーナー」の2回目のプログラムが7月14日に行われました。14人のオーナーの皆さんが参加し、じゃがいもや夏野菜の収穫を体験。お昼は地区の皆さんの心づくしの手料理に舌鼓を打ち、午後はそば打ち体験などで交流しました。そして夜は伝統行事「虫送り」に参加。オーナーの皆さんは「貴重な行事に初めて参加して感激しました。地元の方の手料理もおいしく、とても楽しい一日でした」と話していました。

今後、11月までにあと3回のプログラムを計画しており、そば刈りや収穫祭などを予定しています。

2 キマダラルリツバメ 川井の生息地で観察会

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



キマダラルリツバメを撮影する参加者の皆さん



町の天然記念物
キマダラルリツバメ

川井地区で7月1日、町の天然記念物の「キマダラルリツバメ」の生態観察会が行われ、全国各地の研究者や昆虫写真家が参加しました。奥会津自然誌研究会の主催で毎年この時期に行われています。観察に先立ち、角田伊一会長が希少な生態と町の保護行政について説明しました。その後、参加者は生息地に出かけ、乱舞するチョウを観察。その美しさに歓声を上げました。

キマダラルリツバメは、現在では全国的にも大変貴重なチョウで、川井地区のように一度にたくさん見ることのできる場所は非常に珍しく、参加者からは賞賛の声が多く聞かれました。

3 倉掛沢水路の土砂上げ 3地区の協力で実施

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)



倉掛沢水路の土砂上げ作業を行った皆さん

宮下・荒屋敷・桑原地区の委員の皆さんは6月30日、倉掛沢水路の土砂上げ作業を行いました。この作業は3地区合同で毎年行われているものです。委員の皆さんは暑い中、午前8時半から作業に汗を流し、一年間水路にたまった土砂をスコップなどで取り除きました。その後、消防団宮下班の協力を得て、三島小近くの円方管の土砂上げも行いました。

4 「乙宝寺」に参拝 滝谷健康を守る会

文・写真 町民記者 若林幸代さん (滝谷)



乙宝寺境内にある国の重要文化財「三重塔」



研修旅行に参加した皆さん

滝谷健康を守る会は7月8日、新潟方面への研修旅行を実施し、28人が参加しました。研修では胎内市にある「乙宝寺」にお参りしました。このお寺は天平8年(西暦736年)に開山し、お釈迦様の左眼が納められ、右眼は中国の甲寺に納められているそうです。境内にある国の重要文化財「三重塔」は浮き柱となっており、東京スカイツリーもこの工法を用いているそうです。先人の知恵に感銘し、地区の方々の親睦を深め、心身両面の健康を感じることができた一日でした。

5 「来年も咲けよ」カタクリ群生地の刈り払い

文・写真 町民記者 坂内洋二さん (西方)



カタクリが群生する「大林ふるさとの山」の刈り払い作業

7月14日早朝、西方地区の「大林ふるさとの山」の刈り払いが行われました。地区の皆さん約30人が、朝5時半から1時間半ほど作業し、駐車場から展望台までのオオヤマザクラの林を刈り払いました。また6月30日・7月1日には、土地所有者である西方共有財産管理会の皆さんが、公園上部に広がる桐林を中心に刈り払いを行いました。さらに8月下旬には最上部の栗林を刈り払う予定です。

春にはカタクリとオオヤマザクラの花園となる名所です。西方地区の皆さんの手入れによって、美しい里山の景観が守られています。ふるさとの山は来年もきっと、厳しい冬を越えて、豊かな春を見せてくれることでしょう。

6 水源地の横穴を修復 豊かな水を守る桑原

文・写真 町民記者 長谷川一雄さん (桑原)



水源地の横穴の修復作業。周辺にはブナの森が広がる

桑原集落は倉掛沢、阿寺沢、大谷川、只見川に囲まれ、わずかな台地に二十数戸の居を構え暮らしてきました。簡易水道が整備される前までは、集落南側のブナの森から流れ出る水を生活用水に使っていましたが、その水源からは今も豊富な水が出ており、集落内の水場へ流れています。先人が大切に手入れをしてきた歴史があり、明治31年に建立された「用水記念碑」からも分かります。その水源地の横穴は、栗の木で支え保護されていました。今春、崩落が見つかり心配されましたが、町の補助を受けて修復することができました。

桑原集落では、先人の労苦と歴史を物語るこの豊かな水源を、これからも守っていきたくと考えています。

健康と負担軽減の相乗効果

① 特定健診は生活習慣病予防の第一歩

② みんなが受診することで保険料負担が軽減されます。

受診率65%以上で
保険料負担が軽減
現在58・1%

町では、生活習慣病の予防、悪化防止、ひいては医療費の低減による保険料の軽減化のため、40歳～74歳の国民健康保険加入者の皆さまに、特定健診を受けていただいております。

特に平成24年度は、高齢者医療確保法で定められた特定健診、特定保健指導評価の年度になっていきます。受診率が65%以上となれば、後期高齢者の負担額（国保税の中から徴収）を国が10%肩代わりす

る措置を受けることができます。これを平成23年度に置き換えた試算では、国保加入者一人当たり7447円の負担減になります。（実際の負担減は平成27年度からです）

町の特定健診受診対象者は482人、7月10日現在の受診者数は280人で、受診率は58・1%です。あと34人で基準の65%に達します。

6月中旬に行った集団健診（総口健診）を受けられなかった方や、これから特定健診を受ける方は、県立宮下病院または坂下厚生総合病院において、2月まで個人負担500円で受診できますので、ぜひ

受診をお願いいたします。受診に際しては、事前に町民課保健師へ予約してください。

通院で検査した方は 結果を役場へ

また、特定健診を受診しなくても、定期的に通院している方などで、特定健診の検査項目（表1）を実施した方が、その結果を役場へ提出してください。受診したことになりました。

（表1）特定健診の検査項目

| 検査項目 | | 備考 |
|-------|------------|---------------------|
| 身体計測 | 身長 | 結果がない場合は、保健師が測定します。 |
| | 体重 | |
| | BMI | |
| 肝機能 | 腹囲 | |
| | GOT | |
| | GPT | |
| 血圧 | γ-GTP | |
| | 収縮期血圧 | |
| 血中脂質 | 拡張期血圧 | |
| | 中性脂肪 | |
| | HDLコレステロール | |
| 糖尿病検査 | LDLコレステロール | |
| | 血糖 | |
| | HbA1c | |
| 腎機能 | 尿糖 | どちらか一方の結果でも結構です。 |
| | 尿たんぱく | |

当町の一人当たりの医療費が、

初めて県平均より低くなりました。

当町の国保医療費は
一人当たり23万208円

県内の全59市町村で構成する福島県国民健康保険団体連合会から平成23年度の医療費の実績資料が公表され、当町の国保の一人当たりの医療費は県平均を下回りました。これは資料がある平成7年度以降で初めてです。当町は一人当たり23万208円で、県平均の23万4407円より4199円低くなりました。

常に県内上位だった当町
23年度は35位まで低下

当町の国保の一人当たりの医療費は、平成14年度から16年度まで3年連続で県内1位となるなど、県内上位が続いてきましたが、22年度は16位、そして23年度は35位と大幅に順位を下げました。また医療

費の伸び率は51位でした。町では、保健推進員や食生活改善推進員など健康づくり団体と連携し、国保ヘルスアップ事業や各種健康づくり教室、保健師による戸別訪問などを通して、国保加入者の皆さまと健康づくりに取り組んできました。これらの地道

な活動によって健康についての意識を共有でき、このような結果につながったものと考えています。これからも皆さまと力を合わせ、一人当たりの医療費が県内で一番安く、そして健康で明るく元気な町を目指していきましよう。

国保の一人当たりの医療費の推移

| 年度 | 県平均 | 町平均 | 県内順位 |
|--------|----------|----------|------|
| 平成7年度 | 183,161円 | 199,112円 | 6位 |
| 平成8年度 | 188,769円 | 223,744円 | 2位 |
| 平成9年度 | 188,974円 | 253,209円 | 1位 |
| 平成10年度 | 188,978円 | 217,948円 | 2位 |
| 平成11年度 | 187,749円 | 239,014円 | 1位 |
| 平成12年度 | 187,312円 | 225,818円 | 2位 |
| 平成13年度 | 188,627円 | 205,921円 | 9位 |
| 平成14年度 | 180,866円 | 226,308円 | 1位 |
| 平成15年度 | 184,398円 | 237,631円 | 1位 |
| 平成16年度 | 187,661円 | 255,776円 | 1位 |
| 平成17年度 | 195,810円 | 231,617円 | 5位 |
| 平成18年度 | 200,915円 | 233,192円 | 7位 |
| 平成19年度 | 214,285円 | 268,174円 | 2位 |
| 平成20年度 | 218,662円 | 257,924円 | 5位 |
| 平成21年度 | 220,555円 | 260,625円 | 5位 |
| 平成22年度 | 226,350円 | 239,929円 | 16位 |
| 平成23年度 | 234,407円 | 230,208円 | 35位 |

「健診」の大切さ実感

町保健推進員の研修会

健診に関する研修会は7月5日、町民センターで行われ、町保健推進員の皆さんなど約30人が参加しました。研修会では管理栄養士の中村千恵子さんが講師を務め、健診結果の化学的データにより健康状態を判断することを学びました。参加者の皆さんは、生活習慣病の原因となる内臓脂肪や動脈硬化などの状態が健診結果から分かることを知り、定期的に健診を受けることの大切さを再認識していました。

次回は健診結果を良くする食事について学び、今後は町民の皆さんに広めていきます。



町民センターで行われた町保健推進員の研修会

国保加入者の
(40歳～74歳)
皆さまへ

◆お問い合わせ◆
役場 町民課 ☎(48) 5565

大正琴のアンサンブルを練習 9月1日に発表会

琴桐会は琴伝流大正琴のクラブです。現在12人の会員がいます。練習は月2回、町民センターで行っています。平成19年に発足し、今年で丸5年になります。

大正琴は鍵盤を左手で押さえ、右手のピックで弦を弾いて演奏します。琴伝流はソプラノ、アルト、テナー、ベースの4パートに分かれてアンサンブルを演



琴伝流大正琴の練習をする琴桐会の皆さん

奏する流派です。講師の田崎禮子さん(柳津町)は「きれいに合ったときの感動が琴伝流の魅力です」と話します。

9月1日に猪苗代町の体験交流館「学びいな」で開催される発表会に参加します。「息の合った演奏をしたい」と練習にも力が入り、琴の音色を町民センターに響かせています。

民話

第17話

盆花とり

むかし、和尚様が「小僧、小僧、盆花でも取ってこよう」ちゅうた。」「はい」どつて山奥に入った。そうこうしてううちに、真つ暗になって困つてだ。そのとき山の向こうの方に灯りが見えつから、頼つて行つた。

「こんばんはー。泊めてくんつえ」
「よれー、泊まれ泊まれ。これでも食え」
なんて言わつちやがら、見たればおつかねえ面してんだ。火さあたってたら「俺木持つてくつから、俺の寝どころ見んでねえぞ」なんて言つた。小僧は隙間見たら、頭の毛やら骸骨やらいつぺえ山と積もつてだ。あんまりおつかなくなつて逃げんべえどしたら、鬼婆来た。

「俺、便所さ行きでえ」
「なに、ちよつこら待て」
腰さひもくつつけらちえ、
「ほら行つてこよう」
逃げんべとしてつと、
「小僧小僧、まだがー」
「まーだです」

何回も言つてたら神様出てきて、便所の窓から逃がしてくつちや。そして小僧の代わりに「まーだです」と言つてくれた。」「なげえな。そんなに待つてらんねえ」
鬼婆来たら小僧いねえべえ。グエラグエラ怒つておつかけだ。

「小僧、待てー」ちゅう。「おつかねえー」どつてどぶとんで逃げだ。したら神様が「山んなれー」ドガーンと山出してくられた。鬼婆は山登つたり下つたりしておつかけだ。つかまりそうになつと神様が「川んなれー」ちゅう。そしたらザンブザンブ川になった。小僧はデンデンデン逃げてだ。鬼婆はなかなか川越えてくんよねえ。そうこうしてううちに東の空明るくなつてきた。

鬼婆も「明るくなつたら人里こんな格好してどこまでも追つかけてるわけにもいぐまい。残念だあ残念だあ」どつて戻つちまつた。

そうして小僧は明るくなつたが寺が分がつて戻らつちや。和尚様は「どうした小僧。なんで一晩泊まつた。何があつただあ」つて聞いた。」「いやー、こういうわけでー、おつかながつた」と一部始終語つたれば、「そんな山奥さ行げど言つた俺も悪がつたが、おめえも気をつけろよ。いやはやそれは命がけであつたなあ」と言わつた。

ざつとむかし、さげだ。

掲載協力者 故五十嵐ミノノさん(西方)

ビーチバレーボール大会

間方チーム、Sixdiueに栄冠

10チームが楽しくプレー



1部優勝の間方チーム

2部優勝のSixdiue

町教育委員会主催のビーチバレーボール大会は6月19日・20日、三島中体育館で開催されました。年齢制限のある1部に4チーム、年齢制限のない2部に6チームが参加し、熱いゲームを繰り広げました。

| | |
|-------------|----------------|
| 1部 (年齢制限あり) | 2部 (年齢制限なし) |
| 優勝 間方チーム | 優勝 Sixdiue |
| 2位 ワラビーズ | 2位 NBC |
| 3位 ランチBOX | 3位 桐寿苑 A、オール桑原 |

保健・子育て・健康づくり

町民課 ☎ (48) 5565



schedule

4カ月児健診

8月 21日(火) 11:15 ~ 坂下厚生総合病院
9月 11日(火) 11:15 ~ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

8月 30日(木) 13:10 ~ 町民センター

足腰げんき教室

▶室内運動編
8月 9日(木) 13:30 ~ 町民センター
9月 14日(金) 13:30 ~ 町民センター

▶水中運動編
8月 21日(火) 13:00 町民センター集合
9月 20日(木) 13:00 町民センター集合
(西会津町民プールへ送迎)

機能訓練会

8月 8日(水) 14:00 ~ 福寿草
9月 12日(水) 14:00 ~ 福寿草

心の健康相談 (※事前申し込み必要)

8月 22日(水) 13:30 ~ 福寿草
《申込先》町民課 ☎ (48) 5565

県立宮下病院から

栄養士のつぶやき

佐野 朋恵 栄養士

暑い日本の夏、食事に関係した心配事の一つに「食中毒」があります。「古くなったり、腐敗したものを食べなければ大丈夫」と考える方も多いかもしれませんが、新鮮な食品だから安心というわけではありません。食中毒は季節に関係なく発生しますが、夏場に多いのが細菌性食中毒です。これは食品の中で増えた細菌やその細菌が作り出した毒により引き起こされる中毒で、いくら新鮮な食品であっても、食中毒を起こす菌や毒素がたくさん付いているものを食べるのは危険です。細菌が増えるのに適した温度は25℃~40℃といわれていて、夏の気温にぴったりあてはまります。たった1個の菌が食中毒を起こすまでに増殖する時間は、早いもので3時間程度。食中毒の原因となる細菌を食品に『つけない』、適切な温度で保管して菌を『増やさない』、食べる前にはしっかり加熱して菌を『やっつける』ことを心がけ、食中毒を予防しましょう。

歳時記

萌の会

| | |
|------------------------|--------------------------|
| 雨弾く声を揃へて虫送り 小柴 盛雄 | 句の道は果なく遠し茄子の花 片山 祐一 |
| 梅雨半ば家庭菜園かおとかお 諸井 正子 | 年ふたつさばよみ答うサンガラス 栗城 幸子 |
| 紫陽花の紫深き仮住まい 佐藤 朋良子 | 巢の中の子つばめ互い違いなり 小平 佳子 |
| 退院す額紫陽花に迎えられ 志田 タツノ | ほうたるの恋の灯び闇の径 小柴 有美子 |

これからの行事予定

8月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)
JR只見線・トロッコ列車運行

8月8日(水)
桐寿苑夏まつり 18:00～ 桐寿苑前

8月13日(月)
盆踊り 間方地区

8月14日(火)
盆踊り 桧原・西方・大石田地区
※大石田地区は23年ぶりの開催です。

8月15日(水)
三島町成人式 10:00～ 交流センター山びこ

8月25日(土)
早戸温泉神社まつり 早戸温泉つるの湯

地域ふれあいサロン

大石田友遊サロン

8月17日(金) 10:00～ 大石田生活改善センター
9月10日(日) グラウンドゴルフ (美坂高原)

川井友愛サロン

8月21日(火) 10:00～ 川井集会所
9月11日(火) 社会見学 (那須高原)

間方いきいきクラブ

9月11日(火) 社会見学 (那須高原)

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

放射能測定結果 (抜粋)

| 品名 | 検査日 | 採取場所 | 放射性物質 (ベクレル/kg) | | |
|----------|-------|------|-----------------|----------|----------|
| | | | ヨウ素 131 | セシウム 134 | セシウム 137 |
| わらび塩漬け | 7月13日 | 間方 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| じゃがいも | 7月17日 | 西方 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| いんげん | 7月13日 | 高清水 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| さやえんどう | 7月6日 | 滝谷 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| ブルーベリー | 7月3日 | 名入 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| キャベツ | 7月17日 | 桧原 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 小松菜 | 7月13日 | 大谷 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| きゅうり | 7月3日 | 宮下 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| ピーマン | 7月17日 | 西方 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| かぶ | 7月13日 | 高清水 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| なす | 7月13日 | 桑原 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| かぼちゃ | 7月17日 | 桧原 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| イワナ (養殖) | 7月6日 | 間方 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |

☎役場 地域政策課 ☎ (48) 5533
放射能検査室 ☎ (52) 3511

救急車が必要なのはどんなとき？

顔
●顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
●ニッコリ笑うと口や顔の片側がゆがむ
●ろれつが回りにくい、うまく話せない
●視野が欠ける
●ものが二重に見える
●顔色が明らかに悪い

頭
●突然の激しい頭痛
●突然の高熱
●支えなしでは立てないぐらいつらつく

胸や背中
●突然の激痛
●急な息切れ、呼吸困難
●胸の中央が締めつけられるような痛みが2～3分続く
●痛む場所が移動する

腹
●突然の激しい腹痛
●持続する激しい腹痛
●吐血や下血

手足
●突然のしびれ
●片方の腕や足に力が入らない

意識の障害
●意識がない (返事がない) またはおかしい (もうろうとしている)
●ぐったりしている

吐き気
●冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん
●けいれんが止まらない
●止まっても意識が戻らない

けが・やけど
●大量の出血を伴う外傷
●広範囲のやけど

飲み込み
●食べ物をのどに詰まらせて呼吸が苦しい
●変なものを飲み込んで意識がない

事故
●交通事故に遭い強い衝撃を受けた
●水におぼれている
●高所からの転落

こんな症状が見られたら
重大な病気やけがの可能性がります

ためらうことなく119番に通報し
救急車を呼んでください

会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52) 3032

え、部屋の中でも？
熱中症に注意

室内でも熱中症の危険があります。日常の健康管理、エアコンや扇風機の利用、こまめな水分補給など熱中症予防を心がけましょう。



会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では6月中、1件の刑法犯が発生しました。

「身の用心」作戦にご協力を
当署管内では昨年発生した豪雨災害の復旧工事の本格化により、車の交通量や人の出入りが増加しています。交通事故や盗難などの被害を防止するため、地域住民の皆さまの安全意識の高揚を目的として「身の用心」作戦を推進しています。

《活動方法》
◆管内6町村の全世帯に「身の用心」のお札を配布し、お茶の間の目立つ場所に貼っていただき、家庭での安全意識を高める。
◆事業所・金融機関・学校などに「身の用心」のタペストリーを配布し、出入り口などに掲示していただく。

《皆さまへのお願い》
すでに各町村役場を通じて全世帯に配布した「身の用心」のお札を、家族が目につく場所に貼ってください。
※「お札が届いていない」「破れてしまった」「汚れたので取り替えたい」などの場合は、最寄りの駐在所で新しいお札を差し上げますのでいつでもお越しください。

街頭犯罪発生状況 (1月～6月)

| 区分 | 管内 | 三島町 |
|--------|----|-----|
| 空き巣ねらい | | |
| 忍び込み | | |
| 事務所荒らし | 1 | |
| 出店荒らし | 1 | |
| 自動車盗 | | |
| オートバイ盗 | | |
| 自転車盗 | 7 | |
| 自販機ねらい | | |
| 車上ねらい | 2 | |
| 部品ねらい | | |
| 強制わいせつ | | |
| 街頭犯罪合計 | 11 | 0 |
| 全刑法犯 | 56 | 2 |

※全刑法犯には街頭犯罪以外 (器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など) の犯罪発生件数が含まれます。

自衛官採用試験

| 採用種目 | 資格 | 受付期間 | 試験 | 日時 | 試験会場 | 備考 |
|-------------|--------------------|--------|-----------------|----------------------|----------|-------------------------|
| 自衛官候補生 (男子) | 18歳以上 27歳未満 | 9月7日まで | 筆記試験 | 9月17日(日) 午後 | 会津大学 | 筆記試験、面接・身体検査の両方を行います。 |
| | | | 面接・身体検査 | 9月26日(土) 9月27日(日) | 郡山駐屯地 | |
| 自衛官候補生 (女子) | 18歳以上 27歳未満 | 9月7日まで | 筆記試験 面接・身体検査 | 9月25日(土) | 郡山駐屯地 | |
| 一般曹候補生 | 18歳以上 27歳未満 | 9月7日まで | 1次試験 (筆記) | 9月17日(日) 午前 | 会津大学 | 1次試験の合格者のみ面接・身体検査を行います。 |
| | | | 2次試験 (面接・身体検査) | 10月7日(日) 10月8日(月) | 郡山駐屯地 | |
| 航空学生 | 高卒 (見込含む) 21歳未満 | 9月7日まで | 1次試験(筆記) | 9月22日(土) | 郡山労働福祉会館 | |

※受験料はすべて無料です。詳しくは下記までお問い合わせください。

☎自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

不動産取得税の
軽減制度

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。次の場合に軽減される制度があります。
①住宅用の土地を取得してから3年以内に住宅を新築した場合 (中古住宅の場合は1年以内に取得)
②住宅を取得してから1年以内に、その住宅用の土地を取得した場合で一定の要件を満たすとき
③災害や公共収用時など

本人の申請により税金が軽減される制度なので、該当すると思われる方は下記までお問い合わせください。
☎福島県 会津地方振興局 県税部
不動産取得税チーム
☎ 0242 (29) 5254

町の人口と世帯
(7月1日現在)

| | | | | |
|----|-------|----|----|---|
| 人口 | 1,920 | -4 | 出生 | 0 |
| 男 | 914 | -2 | 死亡 | 3 |
| 女 | 1,006 | -2 | 転入 | 1 |
| 世帯 | 832 | +1 | 転出 | 2 |

※住民基本台帳による数値です。

8月の納税

納期限 8月31日(金)

- ▶町民税 (普通徴収) 第2期
- ▶後期高齢者医療保険料 (普通徴収) 第1期

忘れずにお納めください。
役場 町民課

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

- 秦 清 吉 様 (大石田)
- 秦 次 雄 様 (西方)
- 赤 城 源 一 様 (宮下)
- 久保田 孝 雄 様 (間方)



ポンプ車の部



小型ポンプの部



ポンプ車の部



ポンプ車の部



小型ポンプの部



ポンプ車の部



ポンプ車の部



小型ポンプの部



小型ポンプの部

ポンプ車の部／宮下班
指揮者▶板橋 洋平さん 三番員▶栗城 拓郎さん 補助員▶宗形 和哉さん
一番員▶諏訪 義徳さん 四番員▶布川 孝宏さん
二番員▶五十嵐 淳さん 補 欠▶湯田 剛さん

小型ポンプの部／大石田班・名入班（合同）
指揮者▶秦 一夫さん 三番員▶小柴 和浩さん
一番員▶二瓶 健嗣さん 補 欠▶五十嵐正浩さん
二番員▶五十嵐 優さん 補助員▶秦 勇さん



大健闘した出場選手の皆さん

消防操法両沼予選会
第38回福島県消防操法大会沼沼地方予選会は7月29日、会津坂下町の鶴沼球場駐車場で開催されました。当町消防団からは、小型ポンプの部に大石田班・名入班（合同）、ポンプ車の部に宮下班が出場し、ともに3位入賞を果たしました。両チームは一カ月以上にわたり訓練を重ね、その成果を十分に発揮しました。
炎天下のもと、各団とも機敏な動きで操作を披露し、審査結果は僅差の接戦。両部門とも会津美里町消防団が優勝し、県大会出場を決めました。

ポンプ車の部審査結果

| 順位 | 団名 | 総得点 | 計時 | 行動 | 総合 | タイム | |
|----|----------|-------|----|------|------|--------|-------|
| | | | | | | 1線 | 2線 |
| 1位 | 会津美里町消防団 | 169.0 | 35 | 87.0 | 47.0 | 58.47 | 67.68 |
| 2位 | 柳津町消防団 | 165.5 | 33 | 87.5 | 45.0 | 59.06 | 68.06 |
| 3位 | 三島町消防団 | 164.5 | 33 | 89.0 | 42.5 | 57.07 | 70.56 |
| 4位 | 会津坂下町消防団 | 157.0 | 21 | 89.0 | 47.0 | 62.18 | 77.13 |
| 5位 | 湯川村消防団 | 149.0 | 24 | 82.0 | 43.0 | 61.47 | 75.32 |
| 6位 | 金山町消防団 | 142.0 | 21 | 84.5 | 36.5 | 146.61 | 64.17 |

小型ポンプの部審査結果

| 順位 | 団名 | 総得点 | 計時 | 行動 | 総合 | タイム |
|----|----------|------|----|------|------|-------|
| | | | | | | |
| 2位 | 昭和村消防団 | 86.0 | 16 | 53.0 | 17.0 | 44.86 |
| 3位 | 三島町消防団 | 82.0 | 16 | 48.5 | 17.5 | 44.34 |
| 4位 | 柳津町消防団 | 77.0 | 16 | 45.0 | 16.0 | 44.97 |
| 5位 | 金山町消防団 | 76.0 | 6 | 52.0 | 18.0 | 54.20 |
| 6位 | 湯川村消防団 | 75.0 | 13 | 45.0 | 17.0 | 47.01 |
| 7位 | 会津坂下町消防団 | 71.5 | 11 | 44.5 | 16.0 | 49.15 |

ダブル3位入賞

工人まつりオークション
売上金の全額 530,800 円を
県東日本大震災復旧・復興本部へ

2012.7.3

町では6月9日・10日に開催した工人まつりにおいて、工人の皆さんから提供していただいた工芸品のチャリティーオークションを実施し、その売上金の全額 530,800 円を義援金として県東日本大震災復旧・復興本部（県庁）へ直接送りました。二瓶隆司町長が7月3日、県庁を訪問し、菅野裕之保健福祉部長に義援金の目録を手渡しました。

工人まつりのチャリティーオークションは、東日本大震災が発生した昨年からの実施しています。全国各地から集まる多くの工人の皆さんが、福島復興のために、それぞれのこだわりの逸品をオークション品として快く出品してくださりました。



菅野裕之保健福祉部長に目録を手渡す二瓶隆司町長

町選挙管理委員・補充員が選出されました。

2012.7.26



（左から）板橋徳美さん、坂内アイ子さん、長谷川四平さん、栗城辰壽さん

任期満了に伴い、町選挙管理委員および補充員が平成24年第2回町議会定例会において選出されました。任期は平成24年7月26日から平成28年7月25日までの4年間です。

また町選挙管理委員会は7月26日に委員会を招集し、委員長および委員長職務代理者を選任しました。

【選挙管理委員】

- 委員長 長谷川 四平（川井）〔再任〕
- 委員長職務代理者 坂内 アイ子（宮下）〔前委員〕
- 委員 板橋 徳美（滝原）〔前補充員〕
- 委員 栗城 辰壽（宮下）〔前補充員〕

【補充員】

- 1位 小柴 智雄（名入）〔新任〕
- 2位 坂内 敏子（西方）〔新任〕
- 3位 五十嵐 豊一（西方）〔新任〕
- 4位 二瓶 義徳（間方）〔新任〕

※補充員は委員が欠員となった場合に、順位により委員長の任命を受けて委員となります。

第11回
会津地鶏まつり
美坂高原新そばまつり
10月6日(土) 美坂高原



📍 役場 産業建設課 ☎ 0241 (48) 5566

平成25年4月採用
三島町職員（高卒程度）採用候補者試験

- ◆試験職種 一般事務
- ◆受験資格 昭和58年4月2日以降、平成7年4月1日までに生まれた者
- ◆採用予定 若干名
- ◆一次試験 平成24年9月16日⑧
会場／県立坂下高校
(会津坂下町大字白狐字古川甲1090)
- ◆受付期間 平成24年8月10日⑨まで
(郵送は平成24年8月9日⑧までの消印に限る)

※詳しくは下記までお問い合わせください。

📍 役場 総務課 ☎ 0241 (48) 5511



蛍の舞



祈りの火

(上2枚) 暗闇に光を放って舞うホタル。西方地区の稲表の水田で、7月11日午後8時半ごろ撮影
(下2枚) 大石田地区の「虫送り」。同地区と西方・名入地区で受け継がれている。近年は子どもの減少により単独地区での継承が難しくなりつつあるため、ほかの地区の子どもたちも集まり、保護者や地区の皆さんの指導・協力のもと行われている

自然と文化が見せる 光のナイトショー

全国で猛暑が続く夏。三島には、ひと時の涼しさと懐かしさを感じる自然、文化があります。

7月上旬から中旬、町内各地でホタルが見られました。西方地区の稲表の水田では、夜8時ごろになるとたくさんさんのホタルが光を放って舞いました。水がきれいなところに生息するといわれるホタル。この自然をいつまでも守り継いでいきたいと思います。

大石田地区で7月14日、伝統行事「虫送り」が行われました。害虫を追い払い豊作を願う子どもの行事。たいまつ、ちようちんの火が暗闇に揺れ、子どもたちの虫追いの歌が集落にこだましました。厳かな火の風景を見せる三島の民俗文化の一つです。

編集後記

▼ホタルを撮影するためにバルブ撮影に挑戦しました。長時間シャッターを開ける方法です。上の写真は約1分間開けて撮影したものです。なかなか思い通りにいかず苦戦しました。実際にはこの写真の30倍は飛んでいました▼ちよつと覚えたところで大石田の虫送りへ。今度は闇夜に浮かぶ行列の火と子どもたちを写そうと試みました。ご覧のように変わった写真が撮れました。雰囲気伝わったでしょうか▼「百行の文章よりも、一枚の写真」と教えられたことがあります。もちろんきちんと文字にして伝えることは行政の責務ですが、ページをめくって見てもらえなければ意味がありません▼広報誌は町の歴史として後世に残るもの。年月を経て、その時代を思い起こさせるような写真を載せたいと思っています。ピンぼけ、手ぶれに気をつけます。